

【経済史】 中川 洋一郎 ゼミ



黄天麟先生講演会



台北駅前

演習テーマ：ヨーロッパ経済史

- I ゼミで学ぶのはヨーロッパを中心とした経済の歴史ですが、具体的には、「今や《普遍的理念》となったヨーロッパ物質文明はいかにして形成されたのか。未曾有の高水準にある物質的豊かさと資源・人間の収奪という、矛盾に満ちたヨーロッパ文明に対して、日本人はどのように向かい合っていくべきか」を学んでいきます。そのような問題意識を前提にして、メインテーマとして「ヨーロッパ経済史」、サブテーマとして「台湾と中華帝国」を設定しています。
- II このゼミは、一言で言うと、《読書会》形式で運営しています。《読書会》なのですから、2・3年生では、(1)できるだけたくさんの本を読んで、(2)教室で全員参加型の自由な討論をして、(3)自分の意見を自由に述べる喜び・他者の新しい知見を聞く感動を共有できれば望むところです。その結果として、4年生で「自分の知的好奇心に従って各自が立派な演習論文を書くこと」を目指します。4年生の演習内容は、演習論文作成のための教室での発表と議論、それに個別指導とします。演習論文のテーマは、広く経済・歴史に関係した分野において、自分が心底から研究したいテーマとします。4年生の演習論文で精魂込めて書きたいような《入魂のテーマ》を、3年生までの学生生活で、見つけてください。
- III 具体的な進め方としては、2年生では、教室で、日本・ヨーロッパ・台湾という三分野で知的刺激に満ちた文献を読んでいます。ほとんどが新書ですが、やはり「本を買って読む」という応分の覚悟が必要です。3年生は、拙著『新ヨーロッパ経済史Ⅰ・Ⅱ』を使用して、担当者がそこで提起されている問題点や疑問点を発表します。その後、参加者が質問をして、それをめぐって皆で議論していきます。ヨーロッパ経済史の基本的な知見を得ることと、人の前で自分の意見を堂々と発表できるようになるのがゼミでの目標です。
- IV ゼミ行事として、ほぼ毎年台湾へ行き、「帰らざる日本人」(日本語を話す台湾の「日本語族」)の方々と交流しています。2年生では、台湾関係の書物をたくさん読んだうえで、実際に現地に行くことで、「台湾合宿を通じて、自分と日本と世界を肌で知ろう」(台湾合宿のメインテーマ)。平成17年秋の《第3回台湾合宿》では、ゼミとして李登輝閣下(台湾元総統)に拝謁する機会を得ました。平成29年3月にも《第12回台湾合宿》を実施しました。国際情勢が緊迫化していますので、多少流動的ですが、安全が確保されれば実施します。行けば、あなたが「目から鱗が落ちる」経験をするので、私が請け合います。